

ジェンダー主流化 第1回企業分科会 開催



4月25日(火)ジェンダー主流化 第1回企業分科会を開催しました。

企業分科会は、これまでの勉強会とは違い、企業のジェンダー主流化を生団連から、より具体的に進めていく活動となっています。ワークショップを中心に計4回開催し、参加者には自社課題を実践的に取り組んでいただきます。

第1回は大崎麻子様(ジェンダー・ダイバーシティスペシャリスト)に「企業が知っておくべき国外・国内動向」をご講義いただきました。企業分科会へは18企業の方々をご参加されており、第2回では社会と企業の未来シナリオからバックキャスティングしていくワークショップを行います。



▲大崎 麻子 様(ジェンダー・ダイバーシティスペシャリスト)



▲園田 綾子 様(株式会社 クレアン)

ジェンダー主流化委員会 第2回企業分科会 開催



▲大崎 麻子 様(ジェンダー・ダイバーシティスペシャリスト)



▲藺田 綾子 様(株式会社クレアン 代表取締役)

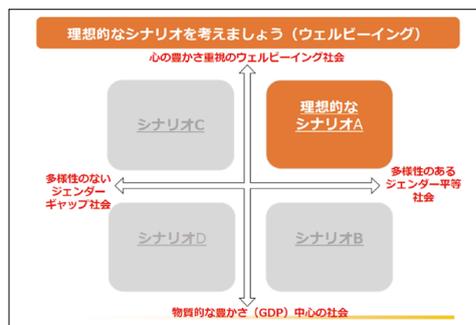
6月12日(月)ジェンダー主流化委員会 第2回企業分科会を開催しました。

企業分科会は、これまでの勉強会とは異なり、企業のジェンダー主流化を生団連から、より具体的に進めていく活動となっております。

ワークショップを中心に計4回開催し、参加者には自社課題に対し実践的に取り組んでいただけます。

第2回企業分科会は18企業・23名の方に参加いただき、藺田 綾子 様(株式会社クレアン 代表取締役)より「ジェンダー主流化が進んだ時の2035年の社会と企業、進まなかった時の社会と企業の未来シナリオを描く」を講義いただきました。

5グループに分かれた参加企業の皆様と未来シナリオからバックキャストしていくグループワークを行い、非常に活発な意見交換の場とすることができました。



▲グループワークイメージ図



▲会場の様子

ジェンダー主流化 第3回企業分科会 開催



▲大崎 麻子 様(ジェンダー・ダイバーシティスペシャリスト)



▲亀田 綾子 様(株式会社 クレアン)

7月11日(火)ジェンダー主流化 第3回企業分科会を開催しました。

企業分科会は、これまでの勉強会とは違い、企業のジェンダー主流化を生団連から、より具体的にに進めていく活動となっております。ワークショップを中心に計4回開催し、参加者には自社課題に対し実践的に取り組んでいただきます。

第3回企業分科会は18企業・23名の方に参加いただき、「企業のアクションを自治体と共に具体的に考える」といった内容のロールプレイングを行いました。参加企業の皆様には自治体の各担当者の役や企業の社長や新入社員になりきっていただき、多様性のある未来実現のための対話を実践いただきました。

ロールプレイング後、地域では、また企業ではどのようなアクションが必要なのかをグループごとに発表いただき、理想の社会に対し企業として何をしていかなければならないか、地域にどのようなことを要望していくべきかを考えていきました。



▲会場の様子

ジェンダー主流化 第4回企業分科会 開催



▲大崎 麻子 様(ジェンダー・ダイバーシティスペシャリスト)



▲蘭田 綾子 様(株式会社 クレアン)

9月12日(火)ジェンダー主流化 第4回企業分科会を開催しました。

企業分科会は、これまでの勉強会とは違い、企業のジェンダー主流化を生団連から、より具体的にに進めていく活動となっております。ワークショップを中心に計4回開催し、参加者には自社課題に対し実践的に取り組んでいただきます。

第4回企業分科会は17企業・20名の方に参加いただき、大崎 麻子 様・蘭田 綾子 様 (株式会社クレアン 代表取締役)より「男女間賃金格差の解消に向けたPDCAサイクルを確立するには？」を講義いただきました。

ご参加いただいた2企業より具体的なジェンダーギャップに関する数的データを開示いただき、5グループに分かれた参加企業の皆様と未来シナリオからバックキャストしていくグループワークを行いました。

ご参加の皆様より活発な意見交換をいただきジェンダー主流化へ向けた気づきの多い会となりました。



▲会場の様子

【参加者ご意見(一部抜粋)】

- 一企業ではジェンダー主流化への道は困難だが、参加企業の皆さんと取り組んでいきたい。
- 自企業だけで悩んでいたが、様々な企業の悩みを知ることができ有意義だった。
- 今回の学びを自社のメンバーに共有し、考え方を改革していかなければと思った。